

4章 関連施設

4-1. 介護老人保健施設 老健くろさわ	88
4-2. 社会福祉法人ペレンナトリリアム 特別養護老人ホーム シェステやまの花	90
4-3. 社会福祉法人マグノリア2000 特別養護老人ホーム シェステさとの花	91
4-4. 介護付有料老人ホーム カーサ・デ・ヴェルデ黒沢	93
4-5. 高崎東部福祉総合相談センター	95
4-6. 株式会社ブラビック	98



介護老人保健施設老健くろさわ



特別養護老人ホームシェステやまの花



特別養護老人ホームシェステさとの花



介護付有料老人ホームカーサ・デ・ヴェルデ黒沢



高崎東部福祉総合相談センター



株式会社ブラビック

4-1. 介護老人保健施設 老健くろさわ

◆ 概要

組織構成と各部門の役割

老健くろさわは、医療法人社団美心会が運営する介護老人保健施設であり、入所支援を中心に、通所・訪問支援まで包括的なサービスを提供しています。グループ内の黒沢病院、黒沢病院附属ヘルスパーククリニックとの協力により、急変時の迅速な医療対応や、日々の健康管理をスムーズに実施できていることが強みです。

2024年度は106名の職員が以下の体制でサービス提供を行いました。

● 入所（ユニット型／従来型）

入所者の多様な生活ニーズに応じ、個別ケア（ユニット型）と集団生活支援（従来型）の2方式を併用。利用者の生活習慣や人間関係を尊重した支援体制を維持しています。

● 通所リハビリテーション（デイケアくろさわ）

短時間から1日まで選べる利用形態を用意し、生活機能の維持・回復に向けた支援を提供。医療的管理のもとで、歩行訓練やマシントレーニングなど多様な運動支援を実施。

● ショートステイ

在宅で介護を行うご家族を支える一時的滞在サービスを提供。緊急受け入れにも対応し、安心安全な滞在環境を整備。

● 訪問リハビリテーション

リハビリ専門職が利用者宅を訪問し、実生活環境に即した支援を実施。生活機能の回復と介護負担軽減を両立する取り組み。



田口 正毅

老健くろさわ・
老健くろさわユニット
さくら施設長
高崎東部福祉総合
相談センター長



2024年度は、以下のような外部・内部環境が目立ちました。

- ・高齢化の進行に伴う独居高齢者の増加、地域での生活維持ニーズの高まり
- ・介護・医療従事者の人材不足と定着困難が深刻化
- ・国・自治体主導のDX推進政策と現場へのICT導入の期待
- ・内部では介護負担に伴う職員の身体的・精神的な負荷の増加

積極的なDXの活用と、法人施設間・部署間連携の強みを活かして、地域の高齢者の方々をしっかりと支えていきたいと考えています。

2024年度の重点的取り組み

ICT・DXの活用強化 ホームページのリニューアルを実施し、情報伝達ツールとしての機能も搭載。記録業務効率化に向けたタブレットの導入、ご利用者様の安心安全・職員の業務負担軽減の為の見守りシステムの導入、職員間の情報共有促進のためのツール・ネットワーク整備を検討。

多職種連携の強化 老健に求められている歯科・口腔・栄養の連携強化。定期的なミーティングを通じたケアの質向上と計画的支援体制の強化。

職員教育・支援施策の充実 認知症ケア関連の外部研修への参加支援。人材定着、メンタルヘルスケアの一環として、定期的な面談を開始。

外国人職員の定着 介護職員・調理補助職員に計17名の外国人職員を配置。今後の介護人材不足に対して、外国人職員の配置、定着支援を実施。

利用者受け入れ強化 緊急ショートステイの受け入れ強化と入所者受け入れまでの期間短縮。

◆ 2024年度の実績

- ・老健入所の売上が前年対比112.3%で過去最大を記録
- ・老健入所稼働率が平均95.2%（前年対比108.3%）
- ・デイケアの売上が前年対比105.8%で過去最大を記録
- ・デイケア利用者数は平均76.3人（前年対比104.4%）
- ・BCP（事業継続計画）の整備完了
- ・緊急ショートステイ体制強化と早期入所体制の実現

◆ スタッフ構成（2025年3月末時点）

職員総数：106名

- ・施設長、副施設長、副施設長代理
- ・専門職：言語聴覚士 1、歯科衛生士 1、管理栄養士 2、薬剤師 1、調理・庶務：調理師 9、庶務 5
- ・入所部門：ケアワーカー 41（外国人職員 16含む）、看護師 10、理学療法士 7、作業療法士 2、ケアマネジャー 1、社会福祉士 3、事務 2
- ・通所部門：ケアワーカー 11、看護師 1、理学療法士 3、作業療法士 1、事務 1、運転手 1

◆ 学術活動

- ・金子紗希，他．老健くろさわの栄養・歯科・リハビリの連携について 安心して食事を摂ってもらうために．第31回群馬県介護老人保健施設大会（Web開催），2024.11.9～30
- ・飯塚智樹，他．腱板断裂患者におけるAPAsの解明．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16
- ・松本慎平，他．当施設における転帰先に対するの関連要因の実態調査．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16
- ・バンダリ シマ，他．老健くろさわにおける外国人スタッフの取り組み．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16
- ・板垣拓也，他．地域を支える～中間施設から在宅支援施設へ～．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16

4-2. 社会福祉法人ペレンナトリリアム 特別養護老人ホーム シェステやまの花

今井 牧仁（施設長）

◆ 概要

やまの花は多野郡神流町の高台に位置し、開設から27年目を迎えました。介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていきたいという地元の皆さんの願いを受け、黒澤理事長が開設しました。

2024年度末に神流町の人口1,400人、上野村1,000人という状況になり、開設当時に比べ半分以下の人口となりましたが、その分長い間入居を待つ必要なく利用できるので皆さん喜んでます。

また施設に隣接した場所に、町営の神流町高齢者住宅が完成したことにより、離れて暮らす家族も安心することができ、そこからやまの花のデイサービスに通う方も増えてきました。介護は必要ないが1人暮らしには不安がある方や、何かあった時の為にやまの花の近くが良いと考える方にはとても良い環境だと思います。高齢者住宅に住みながらやまの花のデイサービスやショートステイを利用し、いずれ介護が必要になれば特養に入居できるということが安心して暮らせる要因になっています。

スタッフの半数近くは開設当初から20年以上在籍しており、年齢も50～70代が半数以上という状況ではありますが、郷土の高齢者のためにと頑張っています。そのような状況の中、2020年に外国人スタッフが来日し、一緒に働いてくれるようになると、職場の雰囲気が以前にも増して明るくなりました。お互いの国の文化の違いなどを理解することにより、より良いコミュニケーションが図られています。

◆ スタッフ（2025年3月時点）

施設長 1、介護職員 26（パート 5）、看護職員 6（パート 3）、介護支援専門員 3（パート 1）、相談員 2、調理員 7（パート 2）、管理栄養士 1、事務 3（パート 1）、庶務パート 1。法人全体（特養、デイ、居宅支援）で50名（内、外国人スタッフ 8名）。

日本人スタッフは、出身地域別では、神流町 24、藤岡市 5、上野村 7、埼玉県神川町 3、高崎市 2、埼玉県本庄市 1 です。



かいこの桑くれ



外国人スタッフの餅つき

4-3. 社会福祉法人マグノリア2000 特別養護老人ホーム シェステさとの花

今井 洋子（施設長）

◆ 概要

シェステさとの花は「最高の福祉サービスによる心安らぐ生活の提供」を理念に、介護が必要になっても安心して生活できるよう、一人ひとりにあった生活をサポートします。黒沢病院から定期的に医師が往診し、いつでも医療相談が可能で、看取りケアも実施しています。様々な専門職スタッフを多数配置し、ご利用者に対する日常的なサービスだけでなく、介護相談、在宅サービスなど、幅広く質の高いサービスを多職種連携によって提供しています。法人として、以下の事業を展開しています。

・特別養護老人ホーム：シェステさとの花（従来型50床・短期入所10床）、別邸 陽（ユニット型個室20床）、別邸 紫（同）・デイサービスセンターさとの花（定員40名）・ケアサポートセンターさとの花（小規模多機能型居宅介護事業）（登録定員25名）・グループホームさとの花（定員9名）・居宅介護支援センターさとの花 ・あんしんセンターさとの花（高崎市委託事業）（担当地域：乗附・八千代・鼻高）

◆ 職員構成（法人全体：2025年3月時点）

保健師 1名、看護師 6名、准看護師 5名、理学療法士 1名、作業療法士 1名、歯科衛生士 1名、管理栄養士 2名、調理師 6名、主任介護支援専門員 2名、介護支援専門員 13名、社会福祉士 10名、介護福祉士 43名、介護職員 18名、介護助手 4名、調理補助 1名、事務員 9名

◆ 2024年度実績

① 群馬県介護テクノロジー導入モデル事業所に選ばれました。（県内3事業所）

全てのベッドに見守り機器を設置し、介護記録ソフト、ナールコールと連動。更にインカム、自動体位交換マットレス、排泄予測機器を導入。介護職員の負担を軽減し、生産性及び介護サービスの質が向上しました。



見守りシステム

② 3年連続 「健康経営優良法人ブライト500」認定！

「職員が健康で生き活きと働き続けること」を目的として取り組んでいる健康経営優良法人に認定された全国中小規模19,796法人の中で、上位500法人に与えられるブライト500に3年連続で認定されました。今後も地域の皆様と職員の健康を守るためにがんばります。



自動体位交換マットレス

③ 協会けんぽ「生き活き事業所宣言 優良事業所表彰」受賞

健診・特定保健指導をはじめ、職員の健康づくりのための取組みを積極的に実施していることが認められ表彰されました。取組内容は協会けんぽの令和6年度健康経営事例集に掲載予定です。

④ G-WALK+（群馬県公式アプリ）企業対抗戦2024年夏の陣 50人以上の部 優勝！

みんなで力を合わせた結果、優勝することができました。これからも楽しみながら運動習慣を身につけ健康を維持します。



G-WALK+夏の陣優勝時の記念撮影

⑤ 「デイサービスセンターさとの花通信」が、2024年度群馬県老人福祉施設協議会広報誌コンテスト「優秀賞」受賞

2年連続の受賞です。これからもご利用者の方々の笑顔を引き出せるサービスを提供していきます。

⑥BPSDケアプログラムによる認知症チームケア推進

新たに有資格者も増え、その人らしく穏やかに生活していただけるようチームで取り組んでいます。

⑦SDGsへの挑戦～目標：環境美化及びゴミ排出量・水道電気ガス使用量20%削減～

法人全体で紙オムツ（リハビリパンツ）→布の下着（コットンパンツ）への移行に取組みました。ご利用者の自立支援と尊厳の保持、皮膚トラブルを軽減しながらコスト削減、環境への配慮を実現しています。

⑧さとの花納涼祭再開！

さとの花納涼祭を再開し、高崎まつりの花火をご家族と一緒に楽しんでいただきました。技能実習生によるミャンマー舞踊も好評でした。浴衣の着つけを習い、皆さんをお出迎えしました（写真、右の4枚）。



スタッフによるロックソーラン節



夜空に打ち上げられた花火

⑨中学校訪問「知ってもらおう介護の仕事」

介護の仕事の魅力を広めること、福祉への理解を深めてもらうことを目的に、今年度も若手スタッフが中心となり片岡中学校・豊岡中学校・高松中学校に訪問してきました。中学生にも先生にも大好評です。



ミャンマー舞踊



浴衣姿でお出迎え

⑩外国人スタッフが国家資格「介護福祉士」に合格！

特定技能に移行したベトナムのスタッフ2名が介護福祉士の国家試験に見事合格しました。また3年間の技能実習を無事修了した3名がフィリピンに帰国しました。新たにインドネシアから4名の技能実習生を受け入れ、現在、ベトナム3名、フィリピン1名、ミャンマー6名、インドネシア4名の計14名が活躍しています。内6名が日本語能力試験N2（通訳ができるレベル）に合格しています。

⑪研究発表会（毎年2月）

毎年2月の研修会で1年間の取組みを発表しています。今年の発表は8件（写真、右上）。開所から23年間で施設内197件、施設外52件の演題が発表されています。



⑫地域清掃（5月・7月・10月・3月）

定例の地域清掃を今年度も4回実施しました。

⑫職員旅行でディズニーシーに行ってきました！

コロナ5類への移行から1年。6年ぶりに職員旅行を開催しました。総勢18名で楽しく、リフレッシュしてきました（写真、右下）。



◆ 学術活動

- ・斎藤賢宏，他．BPSD軽減を目的とした認知症ケアプログラム～グループホームでの取り組み～．第22回群馬県認知症デイ・小規模多機能・グループホーム大会，前橋，2024.8.28
- ・吉沢清人，他．トイレで排泄したい～排泄支援加算Ⅱへの取り組み～．群馬県老人福祉施設協議会 介護チャレンジ2024～事例発表会～，前橋，2024.11.4
- ・宮口知也，他．令和6年能登半島地震発生にともなう介護職員応援活動（派遣事業）報告．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16

4-4. 介護付有料老人ホーム カーサ・デ・ヴェルデ黒沢

小林 大介 (施設長)

◆ 概要 (2025年3月31日現在)

開設 2018年9月2日

施設規模 100室 (スタンダードルーム：90室、プレミアムルーム：2タイプ10室)

職員 看護師 8名 (正職員 7名、パート 1名、育児休暇 1名含)、介護士 41名 (正職員 31名、パート 10名、育児休暇 1名含)、リハ 2名、ケアマネ 2名、相談員 1名、管理栄養士 1名、事務職員 2名、CEO 1名

入居者 100名 (男性25名、女性75名、平均年齢 90歳9か月)

介護度内訳：自立：14名、要支援1：5名、要支援2：8名、要介護1：15名、要介護2：21名、要介護3：11名、要介護4：14名、要介護5：12名

◆ カーサ・デ・ヴェルデ黒沢の特長

医療法人が運営するホーム

県内に医療法人が運営するホームは他にもありますが、当ホームのように運営母体である130床規模の病院が目の前にあるホームは珍しく、外来診療や緊急時の受診、入退院の連携がスムーズに実施できています。毎月、延べ160人前後が外来を受診しています。



受診の負担が少ないホーム

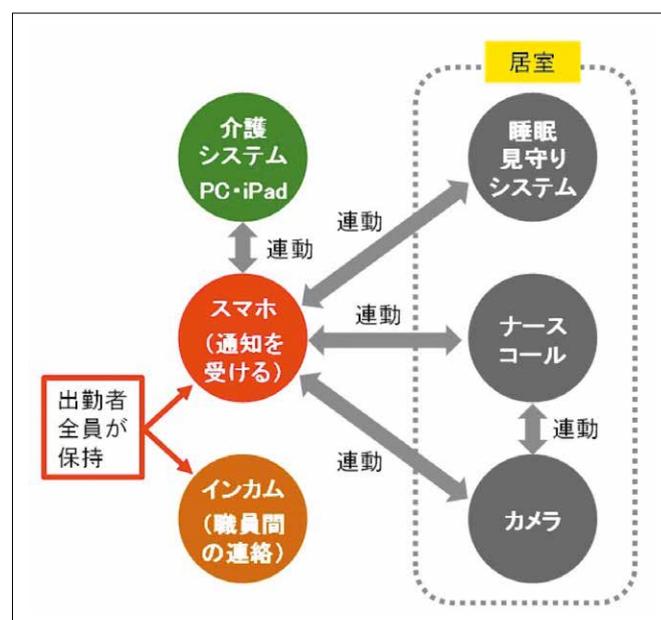
ご入居者が黒沢病院附属ヘルスパーククリニックの外来を受診される際は①送迎がある ②必要な方には看護師が同行する ③受診待ちがほぼ無い ④会計待ち、処方せん待ちが無いなど、負担が少ないため、通常受診時にはご家族の付添いの必要がありません。なお、口腔ケアに力を入れており、入居直後および定期的に口腔ケアをヘルスパーククリニック歯科にて受診いただき、頻回治療となった場合も、上記の通り簡便に受診できます。



ICT機器を活用するホーム

当ホームの夜勤者は看護師1名、介護職3名の4名体制です。サービスの向上と、職員の負担軽減のために、DXを積極的に推進しています。2024年度は、従来のスマホに連動した介護システムに加え、「睡眠見守り機器」「赤外線センサー」「ナースコール」およびWi-Fi経由の「インカム」と骨伝導イヤホンを導入しました。このインカム導入により、他職種間での連携が飛躍的に向上し、ご入居者へのケアの提供が導入前に比べてタイムリーに実施できるようになりました。

(右図：当ホームのICT機器設置イメージ)



リハビリスタッフが3名在籍するホーム

ご入居者の体力の維持向上を目的に、理学療法士2名、作業療法士1名を採用しています。これは、当ホームに求められている基準より多い人数です。2024年度はご入居者、ご家族から実施要望の多い「個別トレーニング（週2回実施）」の対応枠を増やしていきました。

2023年度は年間278件、月平均23件でしたが、2024年度は年間324件、月平均27件に増やし、特に10月以降では月平均30件も実施しました。また、建物内にある当法人のメディカルフィットネスのアネックスでは、ご入居者がみんなで楽しく運動する様子も毎日見られます。



桜の観賞ができるホーム

当ホームは庭園や畑があり、ご入居者の多くが園芸や菜園を楽しまれています。今年度は、正面玄関前に新たに大きな八重桜が植樹されました。それまでに植樹されていたソメイヨシノ2本とともに、春には見事な桜を咲かせてくれました。ソメイヨシノと八重桜では開花時期が異なるため長く桜の花を楽しむことができ、毎年恒例の花見が一層、華やかとなりました。



◆ 職員の育成

当ホームの数々の特長を維持し発展させていくために、職員の育成、教育をととても重視しています。まずは朝礼・夕礼で理念、行動指針、ホスピタリティ強化目標の唱和をおこなっています。また、キャリアパス委員会を設け、毎月のe-ラーニングや資格取得の後押しをおこなっています。さらに、職員全員が健康でやりがいを持って働けるよう職員面談を年2回実施したり、生産性向上を図るためのICT機器を導入したり、職員の認識と運営側のギャップを無くすための「チェック&アクション25」の取組などをおこなっています。こういった取組みに対し、（公財）介護労働安定センターから「奨励賞」を2025年1月にいただくとともに、群馬県から「ぐんま介護・福祉人材育成認証事業者」の認証を2025年2月に受けています。

◆ 2024年度の学術活動

- ・小林大介，カーサ・デ・ヴェルデ黒沢における生産性向上推進体制加算（I）への取り組み，Care TEX東京'24【夏】，東京，2024.7.31
- ・小林大介，ケルビンムタキン．ぐんま多文化共創シンポジウム，前橋，2025.1.29（シンポジスト参加）
- ・小林大介．外国人スタッフと共に作る未来志向の介護付き有料老人ホーム．オンラインTENAアカデミー オンラインセミナー “これから” の介護施設経営を考える 2．
- ・内田匠，他．CVK自主トレーニング資料配布の効果．第9回美心会グループ学術大会，黒沢病院，2025.2.16

4-5. 高崎東部福祉総合相談センター

齋藤 太郎 (介護局長)

◆ 概要

当部署は、在宅介護サービス部門を中心とした、6事業所、計35名の職員で構成されています。

【居宅介護支援センターくろさわ】 (1999年8月開設)

美心会の地域包括ケアシステムや市内の社会資源を活用しながら、ご利用者の豊かな生活の実現、困難事例への積極的な取り組みなど、地域に根差した暮らし作りに貢献しています。スタッフは、介護支援専門員8名(うち、主任介護支援専門員5名)です。職員が豊かな経験を持ちより、適切なサービス提供に努めております。

[担当実績 (2024年4月～2025年3月)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	217	215	206	214	219	208	196	189	192	180	169	192
予防	100	99	97	97	96	100	97	97	96	94	93	95

【訪問看護ステーションくろさわ】 (1997年3月開設)

ご利用者数は約150名で、重症者や自宅でのお看取りの方から生活習慣の改善に向けた方まで幅広く訪問しています。ご利用者、ご家族の方々が安心・安全に過ごせるように、スタッフ全員で様々な検討をおこない、ご利用者本位の温かい支援を大切にしています。訪問リハビリでは、ご利用者・ご家族も含めた在宅目標達成に向けて、経験豊富なスタッフがご利用者の状態に合わせたリハビリテーションを提供しています。また最新医療機器を使用し機能回復を図っております。ご自宅で安心・安全に暮らしていけるように支援していきます。スタッフは、看護師4名、理学療法士2名、作業療法士2名です。

[訪問実績 (看護延べ件数) (2024年4月～2025年3月)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	267	261	254	269	252	238	251	259	278	195	242	237
医療	85	114	113	110	129	128	122	106	93	68	94	97

[訪問実績 (リハビリ延べ件数) (2024年4月～2025年3月)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	405	444	418	451	437	396	435	427	413	311	337	387
医療	31	35	30	36	46	41	45	49	45	38	34	34

【ヘルパーステーションくろさわ】 (1999年11月開設)

ご利用者が住み慣れたご自宅で、安心・安全に生活が続けられるようにご自宅を訪問し、自立を助ける仕事をおこなっています。経験豊かなホームヘルパーによる心のこもった丁寧できめ細かいサービスがウリです。スタッフは、介護福祉士6名、ヘルパー2級(介護職員初任者研修修了者)3名です。

[訪問実績 (延べ件数) (2024年4月～2025年3月)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	653	681	578	744	818	754	795	767	734	726	660	739
予防	141	150	141	147	130	134	147	130	125	118	127	138
自費	11	22	19	23	20	16	16	21	23	15	13	12

【サービス付き高齢者向け住宅ラ・ヴィオラ中居】（2010年4月開設）

ヘルパーステーションを併設したサービス付き高齢者向け住宅で、2022年4月には居室を12室から15室へ増築しました。施設内には24時間スタッフを配備しており、黒沢病院、ヘルスパーククリニックをはじめとする関連医療機関や介護施設との連携により、緊急時にも適切な対応ができるよう万全の体制を整えています。また、ヘルパーステーションが併設している為、安心した生活が送れます。スタッフは、正職員2名、まかない2名、他に日直・宿直スタッフです。



左：ラ・ヴィオラ中居
右：秋のバス旅行
（富弘美術館）

【高齢者あんしんセンターくろさわ・高齢者あんしんセンターくろさわ岩鼻】

高齢者あんしんセンターは、高齢者の抱える心配ごとや悩みごと、介護保険に関する疑問などの総合相談窓口です。電話や来所による相談のほか、相談者のお宅へ訪問し相談をお受けします。あんしんセンターくろさわは中居小学校区、あんしんセンターくろさわ岩鼻は岩鼻小学校区を担当しています。スタッフは、主任介護支援専門員2名、社会福祉士2名、保健師1名、看護師1名です。



地域活動との連携の様子

【相談対応実績（2024年4月～2025年3月）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
くろさわ	303	307	248	255	284	240	254	231	234	166	187	265
岩鼻	335	363	339	460	290	370	416	332	417	412	378	403

※電話・来所・訪問等相談対応を全て含む

◆ 学術活動

- ・高橋みどり，他．医療・介護サービスに繋がらない方への支援を考える（事例提供）．令和6年度在宅医療・介護連携推進事業研修会，群馬，2024.10.29
- ・中村静，他．ヘルパーステーションくろさわのICT化による現状打破について．第9回美心会グループ学術大会，2025.2.16
- ・村上菊野，他．最期まで自宅で過ごしたい認知症高齢者夫妻の看取りを支える．第9回美心会グループ学術大会，2025.2.16
- ・高橋みどり，他．医療・介護につなげるのが困難だったA様との関わり～多職種・多機関連携を考える～．第9回美心会グループ学術大会，2025.2.16

◆ 教育・訓練

当部署では院内研修会の出席率が高く、また各々の力量向上のために「外部研修会への積極的な参加」を個人目標に定めています。受講内容は、研修レポートの提出と伝達講習の実施によって水平展開し、職員全体のスキルアップを図っています。

住み慣れた地域で暮らしていただくために

松田 貴志（居宅介護支援センターくろさわ管理者）

高崎市では近年急速に高齢化が進行しており、2025年には市内の高齢者人口が総人口の約30%に達するとされています。この高齢化率の上昇にともない、居宅介護や福祉サービスの需要が高まり、地域包括ケアシステムの充実がますます求められています。

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送れるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みのことで、特に2025年には団塊の世代が75歳以上になることから、各自治体で整備が進められています。

居宅介護支援センターくろさわでは、この状況に対応するため、地域に根差したサービスを提供しており、2019年に美心会の地域包括ケアシステムが完成してからは、その傾向はより強いものになっています。特に高齢者あんしんセンターくろさわ、くろさわ岩鼻の両センターを通じた地域への関わりは年々増加し、対象者数も増加しています。その中には、医療面、生活面、地域的な課題など、複合的な問題を抱えるケース（困難事例）も多く、通常は打つ手がなく対応に窮するところですが、美心会の地域包括システムの『強み』を活かし、迅速かつ適正なサービス提供や課題解決を実現しています。

その『強み』とは、医療・介護・福祉の多職種連携と地域密着型の実践にあります。美心会には黒沢病院、老健くろさわ、訪問看護ステーションくろさわなど、医療面において充実した社会資源を有しています。各部署、事業所の相談員と日常的に報告、連絡、相談をおこなっているため連携は非常に強固で、健康状態の変化や緊急時の対応、退院、退所の在宅移行支援がスムーズにおこなえる体制が整っています。また、病院や老健でおこなわれる会議や研修に参加していることも、連携強化と医療面の知識向上に大変役立っています。介護・福祉面においては、高崎東部福祉総合相談センター内のヘルパーステーションくろさわ、訪問看護ステーションくろさわ、ラ・ヴィオラ中居で提供される介護サービスと、高齢者あんしんセンター主催の事業などを組み合わせて、住み慣れた地域での暮らしを継続していただけるよう支援しています。

居宅介護支援専門員の役割は、単に介護サービスを調整するだけでなく、地域の方々が住み慣れた場所で暮らし続けられるよう、多職種と連携しながら包括的な支援をおこなうことにあります。どんなに良いシステムや社会資源があっても、有効活用できなければ意味がありません。居宅介護支援専門員には地域包括ケアシステムの『調整役』『潤滑油』としての役割が期待されています。当事業所には8名の居宅介護支援専門員が在籍し、そのうち5名が主任介護支援専門員です。令和3年度の調べでは、主任介護支援専門員が全居宅介護支援専門員に占める割合は約6.6%であり、当事業所の主任介護支援専門員在籍率は非常に高く、質の高い支援が可能です。また、毎週おこなっているカンファレンスでは事例や新たな知識を共有し、経験だけに頼らずに、より良いサービス提供を目指しています。

今後も、恵まれた社会資源と人材を存分に活かし、地域包括ケアシステムの『調整役』、『潤滑油』としての役割を全うすることで、一つでも多く、地域への貢献ができるよう努めて参ります。

4-6. 株式会社ブラビック

松原 哲司（課長）

◆ 概要

株式会社ブラビックは1998年1月に美心会のMS法人として設立した会社で26年目を迎えました。事業の柱は「購買」「業務委託」「ベンリーくろさわの運営」「自動車リース業」の4本。これらの業務を正社員14名、パート従業員74名（Wワーク含む）で遂行しています（2025年3月31日現在）。

（1）購買について

美心会で使用している医薬品・医療材料・事務一般物品を仕入れ、各施設各部署に納めています。2024年度の売上は1,656,551,849円でした。2023年度より1億2800万円増加しています。内訳は下記表の通りです。

医療材料（起案）で納品した高額品は、黒沢病院手術室のAquaBeam Robotic System（54,384,000円）、ヘルスパーククリニック検査部の生化学自動分析装置（14,420,000円）、黒沢病院透析センターの透析情報管理システム（12,872,940円）、ヘルスパーククリニック診療部のウロダイナミクス検査装置（10,815,000円）でした。

事務一般物品（起案）では、黒沢病院システム部の画像保管サーバー入替（30,900,000円）、ヘルスパーククリニック高崎健康管理センターの高速インクジェットプリンタ（4,909,090円）、黒沢病院栄養部の非常食（4,460,400円）、老健くろさわ栄養課の温冷配膳車2台（2,820,800円）、ヘルスパーククリニック高崎健康管理センターの郵便料金計器（1,963,637円）、カーサ・デ・ヴェルデ黒沢の見守りシステム用スマートフォン15台（1,284,000円）が高額でした。

事務一般物品の受注処理では効率化を2点図りました。1点目は美心会各部署から受け取る注文書の形式を見直しました。マクロ機能を組み込み、発注品目の抽出や印刷を自動化したことでデータ加工の速度が向上しました。2点目は物品管理ソフトの一括受注機能を改良し、取り込める項目を増やしました。これにより今まで手入力で補足していた情報を自動で取り込めるようになり、入力の手間削減と入力ミス防止に繋がりました。

年度	医療材料	医療材料 (起案)	医薬品	事務一般	事務一般 (起案)	合計
2023年度	496,939,264	167,939,209	693,553,678	148,262,977	21,759,606	1,528,454,734
2024年度	551,408,413	173,933,311	701,530,416	168,788,172	60,891,537	1,656,551,849

（2）業務委託について

美心会との業務委託契約により送迎営繕・お客様ご案内・宿泊室清掃をおこなっています。従事している従業員は送迎営繕が24名、高崎健康管理センターでのご案内係が24名、人間ドック専用宿泊室清掃係が2名です。前年度と比較すると送迎営繕が3名減少しました。補充のための求人をハローワークや美心会ホームページへ掲載し、SNSを活用した採用活動も取り入れています。反響が乏しく欠員状態が続いています。従業員の待遇改善とこれからの人材確保のため、10月には時給を大幅に見直しました。多くの従業員には喜ばれましたが、年収制限のある従業員の場合には、勤務日数を減らさなくてはならない事態も発生してしまいました。

（3）ベンリーくろさわの運営について

正社員2名、嘱託1名、パート従業員4名（内1名は事務パート）、登録パート16名で業務を遂行しています。前年度と比較すると男性作業員が2名（正社員とパート従業員各1名）減少、1名がフルタイムパー

トから週4日勤務となり、女性正社員1名が補充となっています。2024年度の客数は649名で前年比-111名、新規顧客は157名で前年比-58名、リピート客は492名で前年比-53名となってしまいました。受注した仕事内容は、1位：ガーデンメンテナンス（除草・枝切り）35.5%、2位：ファニチャー（運搬・不用品片付け等）23%、3位：ハウスクリーニング 15%、4位：ハウスメンテナンス 8%でした。2023年度と比較して3位と4位が入れ替わりました。

（4）自動車リース業について

美心会に41台の車両をリースしています。内訳は黒沢病院に13台、東部福祉総合相談センターに12台、老健くろさわに13台、カーサ・デ・ヴェルデ黒沢に3台です。現在1台の増車と1台の入替を計画し注文済みですが、納車に時間がかかっており使用開始は2025年度になります。

毎月のリース料金は1,283,480円です。年額を請求することになっており、毎年9月にご入金いただいております。

（5）その他

2024年度の使用期限切れによる廃棄は、のべ43品558,296円ありました。原因として最も多かったのは、対象患者さんがいらっしゃらなかったことによる廃棄でした。

社屋2階と3階に設置されている空調設備は1998年建設時に設置されたものであり、老朽化し効きが悪くなっていましたので、高崎市の職場環境改善事業補助金を申請しリニューアルしました。12月に入替工事が完了し職場環境が改善されました。

2025年度には医療材料と医薬品を保管している倉庫を電子錠に変更する計画を進めています。登録された従業員のみ入室できるようにすることでセキュリティを向上させてまいります。

◆ 今後の課題

- ・継続して物品のコスト削減と安定供給に取り組む
- ・使用期限切れによる廃棄を減少させる
- ・業務委託の人員補充をすすめる
- ・ベンリーくろさわの黒字化を目指す

